

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 12 月 28 日 (2017.12.28)

【公開番号】特開 2016-162558 (P2016-162558A)

【公開日】平成 28 年 9 月 5 日 (2016.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2016-053

【出願番号】特願 2015-39175 (P2015-39175)

【国際特許分類】

H 0 1 M 2/02 (2006.01)

H 0 1 M 10/04 (2006.01)

B 3 2 B 15/08 (2006.01)

B 3 2 B 27/18 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 2/02 K

H 0 1 M 10/04 Z

B 3 2 B 15/08 F

B 3 2 B 27/18 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 11 月 17 日 (2017.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

少なくとも、基材層、金属層、接着層、及びシーラント層が順次積層された積層体からなり、

前記シーラント層が滑剤を含んでおり、

前記接着層の滑剤の含有量が 100 ppm 以下であり、

下記の計算式 (1) で算出される値 Y が、250 ~ 750 の範囲にある、電池用包装材料。

$$Y = (A \times C + B \times D) / (C + D) \quad (1)$$

A : シーラント層のアמיד系滑剤の含有量

B : 接着層のアמיד系滑剤の含有量

C : シーラント層の厚み

D : 接着層の厚み

【請求項 2】

前記シーラント層の前記滑剤の含有量が、500 ~ 2000 ppm である、請求項 1 に記載の電池用包装材料。

【請求項 3】

前記シーラント層の厚みが、10 ~ 30 μm である、請求項 1 または 2 に記載の電池用包装材料。

【請求項 4】

前記接着層の厚みが、10 ~ 30 μm である、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の電池用包装材料。

【請求項 5】

前記積層体の厚みが、120 μm 以下である、請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の電池用

包装材料。

【請求項 6】

ラマン分光法を用いて前記シーラント層の結晶部と非晶部のスペクトル強度比から算出される、前記シーラント層の結晶化度が、30～60%である、請求項1～5のいずれかに記載の電池用包装材料。

【請求項 7】

前記基材層と前記金属層との間に接着剤層が積層されてなる、請求項1～6のいずれかに記載の電池用包装材料。

【請求項 8】

前記金属層が、アルミニウム箔により形成されている、請求項1～7のいずれかに記載の電池用包装材料。

【請求項 9】

少なくとも正極、負極、及び電解質を備えた電池素子が、請求項1～8のいずれかに記載の電池用包装材料内に収容されている、電池。